



2025 年 12 月 18 日 (木) 第 6 回例会

【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

会長時間



ロータリーは自己研鑽の場です。みなさんこんばんは。

【本日の年次総会について】

本日は当クラブの年次総会です。前回例会でお伝えした通り、ロータリーの年次総会は、次年度の理事役員を決めることが唯一の目的に開催されます。年次総会では、次年度理事役員候補を発表して皆さんの拍手を求めるのでよろしくお願ひいたします。

【ロータリーの二面性】

さて、今日は「ロータリーの二面性」という話をします。よく、ロータリーを一言で言うと、という質問を耳にしますが、これは誤解の元になる愚問だと僕は考えています。ロータリーは、ロータリアンとクラブという世界と、もう一つは国際ロータリーすなわち RI という世界と、2つの世界があり、それが併存していることを理解しないと理解できません。

まず、ロータリアンとロータリークラブの世界ですが、これはチャーターナイトの会長挨拶でも述べたように、ロータリーの本質に関わる重要な世界です。ロータリーの本質とは、各ロータリアンが自己教育を行って、人として、職業人として、また奉仕人として成長することです。そして、それを支援するのがクラブの役割です。当クラブでは、それを「成長支援委員会」が担っています。また、そのようにして成長したロータリアンが、人に優しくするという気持ち「奉仕の心」をエネルギーに、個人として、またクラブとして対外的奉仕を行うことも、この世界に含まれます。

そして、もうひとつが国際ロータリーの世界です。国際ロータリーはロータリー財団のもつ世界最大の資金力をを利用して、世界中で大規模な奉仕活動を主導しています。私たちロータリアン、そして所属するクラブは、国際ロータリーのそのような活動にできる限り協力し、ロータリー全体の目的達成に貢献しなければなりません。

問題なのは、近年、後者の世界だけがロータリーであるとの大きな誤解が生じ、ひとつめの世界、すなわち、ロータリアンの自己教育とクラブの支援ということが伝承されにくくなっていることです。それゆえ、ロータリーは NPO 化したと言われています。これに関して、今日は、RI 指導者の言葉を 2 つご紹介します。

今からちょうど 20 年ほど前、2003-2004 年のグレン・エステス会長エレクトは、「ロータリーは世界最大の NPO である」と発言しましたが、このとき、ロータリーは NPO、つまり、非営利的な社会奉仕団体の方向に舵を切ったと言われています。この一方で、この年度のビチャイ・ラタクル会長は、グレン・エステス会長エレクトの発言に対して、次のように警鐘をならしています。

「ロータリーが世界中で人々を救ってきた事は誇るべきだが、所詮は外面向的な行いに過ぎない。こうした奉仕の力の源となる『奉仕の哲学』が、何年にもわたって無視され、討議さえされていないことが問題である。今もこれからも、ロータリーは金看板である職業奉仕の倫理と慈愛の心を提唱していかなければならぬが、残念ながらロータリーはこの最も重要なロータリー哲学の神髄をわすれてしまった。なんと恥ずかしいことであるか。」

ビチャイは、ロータリー哲学の伝承が長い間無視され、ロータリーがただの社会奉仕団体になる道を歩んでいることを懸念しています。20年後の現在、悲しいかな、その懸念は現実化し、多くのクラブでは、難しいことはしなくていいじゃないか、とロータリー哲学の伝承を避ける傾向にあるようです。

このまま行くと、ロータリーは他の奉仕団体と何も変わらない、ただの奉仕団体になってしまうでしょう。今こそ、忘れてはならないのは、ロータリー哲学の探求は、第一次的には各ロータリアンがすべきこと、そして、それを支援するのがクラブの役割であることです。RIの目的達成に協力しつつ、ロータリーの本質を守るためにロータリー哲学をしっかり会員に伝承できるクラブ、良いロータリアンが育つ保育器のようなクラブになるよう、皆さんと力を合わせていきたいと思っています。

以上で今日の会長時間を終わります。

例会次第

- ・開会点鐘
- ・ロータリーソングの唱和 「我等の生業」
- ・来訪ロータリアン及び来賓者の紹介

　　本日はなし

- ・会長時間
- ・幹事報告
- ・出席報告
- ・年次総会
- ・例会プログラム

　　会長卓話「次年度準備の方法について」

- ・閉会点鐘

幹事報告

- ・既に皆様にはメールでお知らせしていますが、RLI（ロータリーシップ研究会）への参加者を募っています。ロータリーを知るにはとても楽しい時間ですし、とても有意義な一日になります。
- ・次回例会は来年度1月8日（木）午後6時から、ここ「おりづるタワー」にて開催します。
- ・1月15日例会はクラブ協議会を開催し、主に次年度の奉仕活動について意見を出し合いますのでご参加下さい。また、例会後は19:30から新年会を開催しますので是非ご参加下さい。
- ・3月5日例会に、土肥ガバナー、湯澤ガバナー補佐、IM実行委員長の小林さんからメールアップお申込がありました。参加をお願いします。
- ・4月25日は当クラブが所属するグループ8のインターナショナルミーティングが呉阪急ホテルで開催されます。基調講演は岸田文雄元首相です。参加されますようご予定をお願いいたします。

出席報告

本日の例会 参加会員数： 22名中 15名（うちオンライン参加者 3名）【出席率 68%】

スマイルBOX

- ・諏訪：「今年最後の例会を迎えることができました。来年も頑張りましょう！」3,000円
- ・伊藤：「本日は誕生日です。」2,000円

プログラム

会長卓話：「次年度準備について」



次年度準備の方法

広島新世代ロータリークラブ (RID2710)
創立会長 諏訪 昭浩

Rotary

2

今日お話しすること

- ・ロータリーの年度について
- ・次年度準備の方法について
- ・委員会活動について

3

ロータリーの年度

- ・7月1日から翌年6月30日まで
- ・1月1日から6月30日は2つの年度の活動をする



4

次年度準備の方法（運営内規第6条）

1月：委員会構成の決定（理事会）
2月：委員会構成の発表
新旧委員長の引継ぎ
3月：準備委員会の開催
次年度会長から運営方針と委員会の責務・目標を伝達
委員会を開催し事業計画（委員会予算含む）を策定。理事会に上申
4月：事業計画を理事会で審議・調整
5月：事業計画を理事会で承認

運営内規 第6条 次年度委員会活動準備の方法

- 委員長予定者は、次年度委員会構成が通知される毎年2月に、まず前年度委員長と会談し、3カ年戦略計画に基づき委員会運営に関して引継ぎを行います。
- 委員長予定者は、毎年3月に、次年度会長および次年度幹事を招待して準備委員会を開催します。次年度会長は会長の運営方針および細則を補足するため各委員会の責務および目標などを伝達します。
- 委員長予定者は、準備委員会の内容を踏まえて適宜委員会を開催し、次年度の委員会事業計画を策定します。委員長が単独で策定するのではなく、「全員参加」の考え方のもとで進めることが重要です。事業計画の策定にあたっては、3カ年戦略計画と整合性のある単年度計画とするよう配慮する必要があります。
- 委員長予定者は、毎年4月理事会に事業計画案を答申します。
- 理事会は、毎年5月理事会までに、事業計画を審議し承認します。

5

幹事による予算策定の方法（運営内規第7条）

1月：次年度幹事は会計と協議して予算案を策定
3月：各委員会予算を組み込み最終予算案を策定
5月：予算を理事会が承認

運営内規 第7条 次年度予算策定方法

- (1) 次年度予算は、次年度幹事が、次年度理事役員の決定後、会計と協議して素案を策定します。これに、各委員会の予算を盛り込み、会長と協議をした上で、最終予算案を策定します。
- (2) 理事会は、5月理事会までに予算案の審議を行い承認します。

委員会活動について（運営内規第9条）

- ・委員会は、委員長、副委員長、委員で構成される。
- ・原則的に同じ委員会を3年務める（運営内規第5条）
 - 前年度副委員長 → 委員長
 - 前年度委員 → 副委員長
 - 前年度委員長 → 委員
- ・「全員参加」の原則。委員会日程はできるだけ参加者が多い日程を選ぶ。
- ・欠席者へのフォローアップが必要。
- ・次年度準備委員会を除き、会長幹事を招待する必要はない
- ・委員長の独断は禁止。
- ・親睦を深める重要な場もある

運営内規 第9条 委員会開催の方法

委員会は、通常、委員長、副委員長、委員で構成されます。これら委員全てが「全員参加」の原則のもとに共に目的達成のために協力し合うのが委員会です。委員会の運営においては次の事項を遵守します。

- (1) 委員長は、目的達成のために必要な委員会を招集しますが、その日程決定においては、できるだけ全員が参加できる日を選び、それができない場合は最も参加者が多い日程を選択します。欠席者がいる場合は、必ずその委員会で何を話し何を決めたのかメール等で報告し、欠席者が疎外感を感じないように配慮します。
- (2) 委員会は、本運営内規第6条に定める準備委員会を除き、会長および幹事を招待する必要はありません。

(3) 委員長は委員のとりまとめ役であり何ら権限を持ちません。従って、委員長が独断で決定したり、一人で作業を進めることはできません。計画書や報告書の作成においても、協議の効率化のために委員長がたたき台を作つて委員会に臨むことはありますが、必ず委員全員の合意、または多数決など全員が納得する方法をもって最終とします。

(4) 委員会活動は、その委員会の目的達成手段であるだけでなく、会員同士がより知り合い親睦を図る重要な場です。そのため、委員の負担にならないよう、できるだけ頻繁に委員会を開催します。委員会は飲食を伴う必要はありません。

(5) 本クラブはオンラインで参加ができるハイブリッド例会が特徴のひとつです。委員会についても対面式での開催が難しい場合はオンライン開催することができます。

当クラブの委員会①

- | | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 管理運営委員会 | <ul style="list-style-type: none">・管理運営（例会運営、会計、庶務など）全般・SAA（会場監督） |
| 戦略計画委員会 | <ul style="list-style-type: none">・3カ年計画の策定とローリング・規定の見直しと改訂 |
| 成長支援委員会 | <ul style="list-style-type: none">・会員の成長を支援・タイムリーかつ十分なロータリー情報の提供・ラーニング（研修）の規格と実施・新会員に対するオリエンテーション |

当クラブの委員会②

- | | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none">・会報の作成。会報と動画のウェブサイトへの掲載・SNS運営・クラブ公共イメージの向上 |
| ロータリー財団委員会 | <ul style="list-style-type: none">・ロータリー財団への理解促進・財団寄付の促進 |
| 会員増強委員会 | <ul style="list-style-type: none">・退会防止策の企画実行・新会員候補者の発掘計画を主導（全員の職務） |
| 奉仕プロジェクト委員会 | <ul style="list-style-type: none">・対外的奉仕活動の計画実施 |

今後の予定

- | | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------|
| 1月15日例会 | クラブ協議会（クラブ全般について会員が話し合う会合）
次年度委員会配属発表（通常は2月）
今年度は委員長の引継ぎなし（通常は2月） |
| 2月～3月 | 委員会毎に会長幹事を招待して次年度準備委員会を開催
次年度委員会事業計画を策定（予算額含む） |
| 3月末まで | 事業計画を理事会に上申（事務局にメール） |
| 4月 | 理事会で事業計画の協議を開始
必要な修正 |
| 5月 | 事業計画を理事会で承認 |
| 7月～ | 次年度開始 各委員会は事業計画を実施 |

事業計画実施の方法

- 1年間で事業計画を達成する
- 個別の事業毎に「行動計画書」を作成して実施2ヶ月前までに理事会に上申
理事会の承認後に実施
- 個別の事業が終了したら「事業報告書」を作成して実施後1ヶ月以内に理事会に上申

広島新世代ロータリークラブ 事業計画書(サンプル)

提出日(西暦) 2025.3.31

委員会名 成長支援委員会

委員長

予算(消費税込) 30000円

活動方針 (自動改行されますか改行がある場合はセルの高さを広くしてください)

ロータリアンの基礎研修と異なる発展、また、管理運営の健全化のためのロータリー教育が必要であるとの会長方針に従い、今年度は中長期的に持続可能な様々な場面におけるロータリー情報提供のしくみを構築し導入する。具体的には以下のよう活動を実施する。

計画 (自動改行されますか改行がある場合はセルの高さを広くしてください)

- 新会員の入会時に適切なロータリー情報を提供する。使用する冊子は抜本的な見直しを行い、最新でよりわかりやすく実のあるものに改訂する。
- 毎月第3例会で最新のロータリー情報を会員に提供する。
- 細別の定めに従い新会員の入会後年間のオリエンテーションを監督するための具体的な仕組み(ロータリアンの基礎研修制度)を構築し運営する。
- 既存会員を対象とした継続的なロータリー教育制度を構築し運営することによってロータリアンの更なる発展を図る。
- 新理事役員、新委員長向けの研修制度を構築し運営することによって、クラブの管理運営の健全化を図る。
- 以上の計画の実施に当たっては、クラブ研修リーダー(現在は当委員会委員長が兼務)の権限的役割を明確化し、当委員会の活動との有効な連携を図る。

添付資料

広島新世代ロータリークラブ 活動計画書

提出日(西暦)

行事名

委員会名

予算(消費税込)

実績(消費税込)

実行後予算残

実施年月日

実施場所

出席者

計画内容 (自動改行されますか改行がある場合はセルの高さを調整してください)

添付資料

広島新世代ロータリークラブ 活動報告書

【注意】委員会活動は実施の後に必ず理事会の承認が必要です。

提出日(西暦)

行事名

委員会名

予算(消費税込)

実績(消費税込)

実行後予算残

実施年月日

実施場所

出席者

実施内容 (自動改行されますか改行がある場合はセルの高さを調整してください)

添付資料